館報たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館編集部
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市伝馬町電②5353

公民館事業計画決る

点から線に 線から面への容積化を

◇……農村の変ぼうは昭和三十五年頃から急速に進み、住民の生活や考え方の仕組みは大きく変化してきた。そして私たちをとりまく周囲の情勢はますます厳しさを加えてきている。公民館の活動はこうした中にあって本来基本的には「民主的人間、主体的人間」の創造のための教育活動であるといわれ、たゆまずその活動が進められている。一人一人の生活や意識が高まりこれが結びついて地域の活動が生活の主体者としての自主性がさらに広まることをねらいとして今年の事業計画が決った。……◇

【重点方針】

1 学習活動の推進と組織化への援助
（学習活動をさかんにするための条件をととのえる）

2 分館活動の助長
（分館の独自性を生かし、分館を学習活動の拠点となるための充実をはかる）

3 広報活動の充実
（地域や生活の課題と積極的にとりくみ、個人や団体の活動がより豊かになるための働きと、住民から親しまれる公民館報の発行を行う。又有線放送を利用し特集的編集を行い放送する（

4 体育、レクの普及伸長
（一般を対象としたスポーツを普及しスポーツ人口の増加をはかるとともにレクリエーションの普及伸長をはかる）

5図書館機能の拡充強化
（家庭文庫＝家庭へ本をもちこむ＝の充実と配本時における学習の場の設定を行う）

6 関係団体及び機関の連絡提けい
（それぞれの特性を生かし活動の協調、提けいを密にして全地区的な活動への条件整備をはかる）

〔事業計画〕

文化部

合同短歌会（八月）、映画教室市政を語る会（十月）、市会傍聴、講座（一～二月）、公民館活動研修会、明治一〇〇年間の青年運動史を語る会、村誌利用学習会

広報部

館報発行四回（四、七、十一、三月）有線特集番組企画放送、館報発行の財源ができれば発行回数を増したい。

体育部

第八回竜丘市民体育祭（4・29）ソフトボール大会、民謡、レク講習会、第二回竜丘水泳大会、（八月）地区一斉ラヂオ体操実施、夏休み期間中（7～8月）常会対抗野球決勝大会（8・15）市地区対抗四〇才以上野球大会（10・20）市地区村対抗野球大会（11・17）市民運動会（11・3）竜丘文化祭＝男女バレーボール大会、弓道大会＝（11・22～24）竜丘公民館スキー教室バレーボール教室（2月）市母親バレーボール大会（3・2）

企画部

文化祭（11・22～24）敬老会（10・15）生活合理化運動、企画部研修旅行

【全体的なもの】

家庭文庫配本と学習会（毎月十七日）青年学級、家庭教育学級、婦人図書館開館（毎週土曜日）、婦人民謡教室、読書案内、以上いずれも年間通して行う、竜丘村誌利用学習会、政治学習、明るく正しい選挙の学習会、母親コーラスグループの結成、その他関係団体、グループの育成援助

伊那市で・県公民館大会

県教委、県公運協などの主催で第十七回長野県公民館大会が、来る八月二～三日、伊那市伊那中学校で開催される。竜丘は「くらしと政治」の分科会に飯田市を代表してレポートを提出する。

解説

考え直そう 原水禁運動

今年もまた原水禁大会のシーズンが来ました。十五年前東京杉並の一婦人団体の〃原水爆はもういやだ〃と言う純真な国民感情は原水爆禁止の署名行動となり、全国に炎のように広まりました。広島長崎、さらにビキニと三度にわたって被害を受けた日本人としては当然のことだったのです。この国民の声〃署名行動〃は時の政府にも大きな力を加えました。そして原水爆禁止の願いは、日本原水爆禁止日本協議会結成へと発展しました。平和団体、委員会……等の幾多の組織はありますが、一婦人団体の始めた平和運動が全国的規模に成長した事例は少いでしょう。これは全て人道的見地から出発した純真なものであったからこそ全国民的支持を受けた訳です。そして毎年原水禁世界大会が開かれ、日本人の願いは全世界国民の願いへと発展して来たのです。ところで、世界大会も回を重ねるたびに、質量共に大きく成長して来ました。立川、砂川、横田基地拡張反対斗争、軍事基地撤去の斗いと原水爆を実験、製造、貯蔵の反対から使用させないための斗いへと発展して来ました。つまり、政治的に大きく目を見開いて斗う姿勢をはっきりさせました。この頃が原水禁の第四、五回世界大会でした。またこの大会では新しい問題が提起されました。〃原水禁運動は人道的立場に立って行なわれるべきである〃〃政治的偏向すべきでない〃と言う原水禁運動の中立化論です。しかし考えて見ればおかしな話です。原水爆の実験も製造、貯蔵も、ましてや軍事基地拡張、沖縄のミサイル基地化にしても全ての平和を毒する行為は人為的に〃政治〃によって行なわれています。地震、カミナリ……等の自然現象とははっきり区別出来る問題であることは衆目の一致するところであります。それならば平和運動としての原水禁運動が立派な政治運動であることにまちがいありません。それでは中立化論は何の他意があるのでしょうか。それは〃現状是認〃の悪質な行為なのです。本当に平和運動を行ない、住みよい社会をつくるのならこれらの言行には真行面から対決しなければならないでしょう。

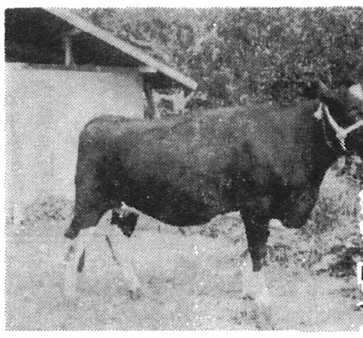
ところで私達の近辺にもこのような事実はたくさんあります。三年前、青年会が青保条例反対署名に廻った時婦人会の役員達は〃役員としては〃とか〃私達は中立なので〃となかなか話が合わなかった。しかし、よく考えてみればおかしな事だ。中立化論は、積極的現状是認の立場に立った立派な政治運動ではないだろうか、今はどうであろうか。

青年会、老人会、婦人会……等自分達の生活を積極的に良くしようと言う団体、サークルは、おかしな中立化論を打ち破り、皆で学習しよう。

その意味で今年の夏は皆で原水爆禁止運動をあらためて見直そうではありませんか。

繁栄する酪農

多頭化進む



【将来が期待されるアメリカ産乳牛】

乳価交渉は生産者団体と乳業大手四社（明治、森永、雪印、協同）との中央交渉は決裂し今や地方の交渉の段階に入っている。

昨年の暮から生産者側がキロ当り五円以上の値上を要求しているのに対し、乳業メーカー側は今のところ乳価を上げる財源がないことを理由にゼロに近い回答を繰り返し今年度の乳価交渉は長引き、難航している。

難航する原因としては

(1)今のところ市乳がのびない。

(2)四月に入って搾牛量が多くだぶつきぎみ（一〇％増）

(3)加工乳には補給金（四〇億円）があるが市乳には補給金がない

などの理由とされており、乳価は乳価交渉が妥結する迄、暫定払いでキロ当り四十二円八〇銭、補給金二円二〇銭を加えたものから県の手数料一四銭、原乳衛生費二〇銭、を引いたものが酪農家の手取価額。

こんな乳価状勢の中で竜丘の酪農は年々と伸び、今では搾牛頭数一八〇頭、育成頭数七五頭、一日の乳量三〇〇〇キロ、（南酪に対する比率三％）で飯伊地区に於いても市田、伊賀良と並んで酪農地帯となって来た。

昭和三十七年には搾牛一戸平均一頭強だったのが急速に殖て、今年の六月には五年前の二・八倍の三頭近く迄になって来た。これについては

1農業の選択的拡大によるもの。

2他の飼育動物に対して乳価が割合安定していること。

3南酪が単一協同組合である為めに技術、指導の徹底。

4昨年の四月から加工乳に対して補給金が助成され乳価が上がったこと。

5乳製品の輸入差益金による利子補給が国からあること。

6長野県下が市乳地帯に入った為

7借付牛に対して年五分五厘の利子補給があること。

などがあり今後もかなり増頭される見込。

又年間四〇〇～五〇〇キログラム、搾牛出来る牛の生産コストは（四十二年南酪調査に依る）生乳生産費一〇〇kgに対して飼料費、労務費、減価償却費のすべてを差引くと現在の乳価では純収益は一〇〇～五〇〇円の赤字となる。

この赤字を少しでも少なくするために数多くの牛を飼育し、生産コストを下げて、多頭化の傾向をたどらなければ経営が成り立たない所に竜丘の酪農が繁栄するともいえよう。

尚国、県に於いて新しい血液更新の為、アメリカから直輸入されたアメリカ産ホルスタイン初妊牛が去る五月八日と六月二十九日、合計五五頭が下伊那郡下初の竜丘へ六十五～七十万円で導入された。これについて竜丘の酪農組合長牧島さんは

「やっと念願のアメリカ産の牛が導入され新しい血液の更新により今や竜丘酪農も軌道に乗ってきました。この七月一日には下平道啓さん宅に導入された牛が早くも牝牛を出産され今後の搾乳量に期待が掛けられている。

これからの子孫は竜丘地区内で飼育し、これから十年先にはどの酪農家へもアメリカ産の牛が入り多頭飼育に全力を上げていただきたいと思います。それには竜丘の酪農家の皆さんが固く団結し意気と情熱を持って理想と現実の壁を排除し、あらゆる障害を乗り越えて洋々たる酪農の前途を見つめ酪農を楽農とすべく共々に手を取り合って強い努力をしたい。」と語っておられた。

信金・時又にできる

【開店した信金時又支店の窓口】

皆さんすでに御存知のように飯田信用金庫時又支店が七月十五日開店の運びとなりました。地域住民にしてみれば約一年間の金融機関のブランクであり、今更ながら金融機関の必要性を再認識するものである。

大正三年信産銀行時又支店開店以来五十三年間、飯田銀行、八十二銀行と名前は変りながらも長期にわたって地域と結びついてきただけに合理化による八十二銀行時又支店閉店を耳にした時は誰れもが驚嘆した事に相違ない。

幸いに多くの人々の金融機関誘致運動によって信用金庫が当地区に開店される事は非常に喜こばしい事である。営利を目的とした大企業中心の金融機関から中小企業一般家庭を対象とした地域金融機関としての信金に大いに期待し、地域に立脚した本当の民主的なこの機関を私達は利用したいものです。

随想リレー 104回

ラグビー雑感

原 佳明

良くもこう生えたものだと感心しながら、これでは反当五百円近くの除草剤代は捨てたようなものだと一人言を言いながら田圃での四つばい、昨日は農休みで体は休ませたはずなのに足が重く節々が痛くてしかたない。やっぱり年かなあーと思う。二十三日、三十日と二週間続けてラグビーのレフリーを勤めた為だ。今年は例年九月に行なわれる団体予選が六月一ぱいに代表を決めることになった。トヨタ自動車との東海北陸ブロックの決勝戦は笛の吹きがいがあった。日本ラグビー界屈指の強チームを審判出来た事で満足感で一ぱいだ。前夜立派な笛を吹こうとルールブックに一通り目を通したが試合を終えてみるとあの時は間違ったかなと思われる点が二三ある。なにしろラグビーは三十人の選手を一人のレフリーがさばき、そして選手はその笛通りに従がわなければならない。それ故に笛を吹くためには勉強が大切だが、なかなかそれが出来ない。時間まで農良仕事をしていてかけつける。試合中に足がつっぱる様な事もあった。選手と共に同じように走るのでなかなかの重労働である。今年はやめようと思いながら三十も半ば過ぎる年までやって来てしまった。これも二十年来の病気でなかなか治らない。

どうしてそんなにラグビーが好きかと問われたら即座にチームワーク第一のスポーツだからと答えるだろう。どのスポーツでもチームワークが大切であるがラグビーは絶対に一人ではプレイ出来ない十五人が一丸となってこそ勝利への道が開らかれるのである。ラグビーは野性と知性がミックスしたスポーツである。或る時は強引に相手の密集を突き破り、又或る時は相手の動きをみてその裏をかく誠にダイナミックでありスマートなスポーツと思う。一度プレイすればやめられず一度見れば好きになるスポーツである。

近頃本家のサッカーがブームを産み大好評であるが、飯田地方のラグビーも試合毎必ず見に来る常連が多くなり誠に心強い限りだ。ラグビーブームを飯田地方から起こそうかなどと大それた事を考えながら、痛くなった腰をのばし大きく両手を空に向けてのばした。体中に快い気持がつっぱしる。どうやらラグビー病は私の心臓が動いてる限りは治らないだろうと思いながら又四つばいになった。

次のバトンを駄科の伊東貞美さんに渡します。

県表彰受ける

上川路老人クラブ

七月九日、十日上田市で開かれた県老人クラブ大会で、上川路老人クラブ「丘の学級」が県優良老人クラブとして表彰を受けた。

上川路老人クラブは、毎月定例的に時事問題、健康の問題等の学習会やレクなどを実施している。また集会施設の清掃、道路の整備地域内の案内標識を立てるなど自主的な社会奉仕の活動をしていること。会員が一人一役を持ち、皆が協力しあい、いつも活発な活動が行なわれていること。などが認められ今回の受賞となった。上川路老人クラブが更に発展する事を期待したい。

ヤブ蚊

▼世の中に確率論、許可基準と言うのがある様だ。例ば日本能炎予防接種の場合、百人の内七人が薬効が無くても又、千人の内七人が他の病気を併発しても許可される しかし死亡事故が起る可能性が有る場合には、親しい言葉に「万が一」と云う言葉があるが、一万人に一人が死亡するとしたら許可されない様である。

又例えば、前は男の子が生れたから今度も男であろう。逆に今度こそは女であろうと云う論法もあるしかしこれは統計の上からの確たる実証が無く確率論は成立ない

▼道路交通に確率論を当てたとしたらどうだろう。

運転手は過失を起す可能性を持っている人間である。又すばらしい能力を持っている人であっても取り囲む環境に依りその人の持つ能力がいつも一〇〇％出し得ることはむずかしい。スポーツ選手の記録を見ても理解出来ると思う。

だからそれに対応する道路が基準に合格する施設を備えていなくてはいけないのではないだろうか。

道路行政の遅れが目立つ、竜丘の道は特に悪い、期待の国道も地域に依っては「開く」から「飽く」に転じ弊害も無きにしもあらず。

▼事故の全てが運転者の過失にあるとも思えない。起伏、カーブが多くその上に狭く安全施設が無い道、又囲りの環境が運転に適したものばかりでも無い。

運転者に過失を起さない様に望むのはもちろん、仮に過失があったとしても人身事故に直結することの無い道路、そして環境を作ることが必要ではないだろうか？

竜丘の国道も開通すれば現在以上に車の数が増加することは必然、事故多発地帯にもなりかねない。

学童通学路、国道の横断、取付道路、等々の安全施設、又、運転者に対するふるまい酒等の運転環境についての対策を研究しなくてはならない時ではないだろうか。

▼若い二人の不慮の事故、また、長い間道を守る一老人、我々の周りにはいくつも教順がある。

起さない、起させない、万が一にも、いや一億に一つにも人身事故の起る確率の無い事を実証することの出来る様に。

成人病予防のために

飯田市で二番目

竜丘の脳卒中死亡率

高血圧を主な要因とした病気の終着駅が、脳卒中などの脳の血管の病気であり、これによる死亡が現在の日本の国民死亡の第一位にある事は誰しも知っているところである。

当竜丘地区に於ても例外ではなく死亡の第一位であるばかりでなく、飯田市十二地区のうち二番目に多いという、うれしくない記録になっている。

表一は、昭和四一年度中の地区別の死亡者数、脳卒中死亡者、人口十万人に対する脳卒中死亡者をまとめた表ですが、竜丘は、全死亡者四四人中二一人が脳卒中で死亡している。実に半数近い人が脳卒中で死亡している。

人口十万人に対して四七二・七名と、山本に次いで二番目という事になる。更に全国平均の約二・七倍、長野県、飯田市の平均の約一・七倍の高率を示している。

次に四二年、四三年六月までの竜丘の死亡者中成人病死亡者を見ると次の様になる。

	四二年	四三年上半期
全死亡者	35	26
脳卒中	13	8
心臓	7	8
ガン	5	4

これで見ると。やはり脳卒中死亡者が一番多く三七%（四二年）心臓病、ガンを含めたいわゆる成人病死亡者が七〇%を越える。

人口十万人当り脳卒中死亡者は約二七〇人で、長野県、飯田市の平均値に下っている。しかし依然全国平均の一・六倍と高率である。

こうした事もあり、竜丘地区が昨年から県の成人病指定調査地区になり現在に至っている。

脳卒中死亡率　表1

	全死亡者	脳卒中死亡者	人口10万人当り
全国	670,135	171,716	173.4
長野県	15,996	5,286	270.7
飯田市	577	216	274.5
山本	34	20	493.3
竜丘	**44**	**21**	**472.7**
下久堅	41	16	387.4
上久堅	29	10	350.3
竜江	35	12	305.0
伊賀良	49	20	258.8
千代	27	9	248.0
三穂	26	5	243.7
座光寺	26	8	230.7
松尾	54	14	182.0
川路	17	4	173.0
飯田	195	54	148.6

何故高血圧――脳卒中が多いのだろうか。一般に言われている高血圧の要因をまとめてみると

高血圧の要因

●塩分のとりすぎ

原因の一つは食生活に求められる。つまり主食が米であり、それに対する副食や調味料が味噌、しょう油や漬物等食塩を多く含んだ調理が用いられている。食塩の摂取量をみると、イギリス人は一日一四gに対し、日本人は平均二〇gとなっている。

●冬の寒さ

脳卒中の死亡は夏に少なく、冬に多く発生している。従って日本では暖かい地方では少なく、寒い地方程多くなっている。内陸性気候で冬の寒さが厳しい当地も例外ではない。

●激しい労働

激しい肉体労働は高血圧につながると言われる。農家の集中的な忙しさ、特に養蚕等は、過労、食生活の簡素化、塩分のとり過ぎといくつかの要因が積み重ねられる。

●脳卒中の予防

脳卒中を予防するにはどうすれば良いのだろうか。前述の高血圧の要因をなるべく取り除く様にする事が大切であるが、その他に、眼底検査を受ける事。現在竜丘は成人病指定地区になっており、一部市負担で検診が受けられるようになっている。

四〇才以上の人は一年に一回は検査を受け、早期発見、早期治療をしたいものです。

飯田市では昭和三八年から眼底検査を行なっているが、竜丘でこの検査を受けた人は今までに延六八四人とまだまだ少ない。受ける人は何回も受けているが、受けない人は全然受けないという現象になっている。

また自分は「血圧が低いから脳卒中の心配などない」と思っている人が多いが、この考え方は危険である。一例を示すと、五六才の女の人で、最高血圧一四四、最低血圧九〇と血圧の上からは正常に近い人でも眼底検査の結果治療を要すると認められた人がいる。

●古田保健婦の話

「竜丘は脳卒中死亡者が飯田市の中で山本に次いで二番目に多いという悲しい記録になっているが、早期発見、早期治療すれば予防出来る病気。つい先日も眼底検査が行なわれたが、四〇才以上の人は一年に一回は必ず検診を受けてほしい。また、ガンの早期発見のための胃の検診も必ず受け、健康な毎日を過してほしい。」

沖縄報告

基地撤去に立ち上る県民

私たち県連青第五次代表団は、二月二五日那覇港に着くと同時に活動を開始した。見る物、聞く事全てをメモしカメラにおさめた。それは沖縄が日本の縮図であり、生きた教科書だから、私たち青年の平和への願いも、真の独立の要求も、民主主義を確立するうえからも、又民族運動から、青年として立ち上がらざるをえなかったし沖縄の即時、無条件、全面返還を要求して、日本の世論と政治を動かしうる基盤が青年にある。返還運動前進の為に今日まで果した長野県連青、とりわけ竜丘青年会とそれを支えた地区民の熱意を無視できない。

各班調査活動（見る聞く話す）

私は「土地・闘争」を中心に、米軍の土地取り上げと県民の闘いその考えと行動。軍事優先・人種差別・人権無視・基地公害・生命の危機と異民族に統治された中でたえず大衆運動を通し抵抗をしている県民の姿と、災の因を知ろうとした。

ベトナム侵略戦争の最大の基地

調査滞在中、沖縄は常に戦争に巻き込まれる危険があり、今日もその危機はつづいている。B52核戦略爆撃機が、二月五日より常駐し、ベトナムへ直接発進するからです。昨年の佐藤首相訪米は〃沖縄返還〃の外交だったのに、共同声明では、沖縄の基地の要重性と今後の役割を再確認したにとどまりました。訪ねる人々の口からは「B52がガム島から来たのは、共同声明の具体化だ。」「ベトナムで敗けているから。」と言う事で、本土にいる者よりはるかに、ベトナムの状勢がわかるのです。テト攻勢以来、ガム島台風避難のウソも使えなくなり、沖縄から飛び立つB52。嘉手納（ガデナ）飛行場は、羽田の約十倍の広さ、四千メートルの滑走路が二本もある。アジア最大の軍用飛行場です。（この土地は村の約八割をしめ、村民は爆音に悩みつづけている）カデナからベトナムまでB52なら約二時間、北爆を行ないほぼ数時間で戻ってくる。

県民の怒り〃B52帰れ〃デモ行進

B52が十八機常駐するや、カデナを中心に人民党・原水協・社会党など主催の県民総決起集会が催された。子供の胸に〃B52すぐかえれ〃の手書きのリボン、労働者農民などは〃B52撤収要求〃をつけ、B52撤退決議、基地撤去の決議が全市町村超党派で行なわれていた。カデナグランドに集った、全県代表の演説も、ものすごいジェット爆音に何回も阻まれながらベトナム侵略に対し抗議し、大デモ行進が町に入る。（中学、高校生も参加）交通はマヒ、カデナから帰る私たちのタクシーも、一時間はどストップ。動けない車、頭にこないか問うと「勤務だから車に乗っているだけ、このデモには参加したいのだよ」と運転手。B52撤去のデモは県民の願いと怒りそのものでした。

沖縄はふみにじられている

私たちが、嘉手納村屋良へ行くと、部落から道路の向うは、飛行場で、迷彩をほどこしたB52が、見え、非常にぶきみです。部落の人に話しかけたのですが、爆音がひどくて聞こえないらしい。このジェット音は、夜昼かまわずとどろく。ことに夜八時頃から、一斉に全機がエンジンの空フカシを行なう為、赤ん坊は眠れず、子供は勉強が出来ず、大人はテレビも見れない。昨夏以来、井戸はガソリンなどで汚染され、保償もされずに生活はおびやかされ、B52の直接発進で〃報復攻撃のおそれ〃があり、戦時下におかれているのです。祖国復帰運動が復帰協に統一している事は大切な事ですし、「復帰ですか、もちろんです。でも基地を無くさなければ、苦しみは消えない」という答を沢山聞いた。沖縄の要求は、基地の島から脱れる事であり、それが真の祖国復帰です。

（つづく）

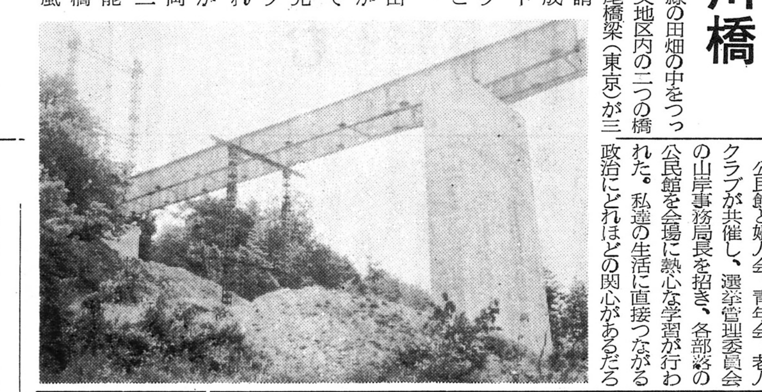
完成近い新川橋

早期完成が期待されている国道工事も駒沢橋、新川橋の架橋工事も始まり地区内全線開通の日が待たれる。

桐林地区の工事は四十二年度中に、小池取付道路など一部をのこして全線開通し、七米余の道路に砂利もしかれ緑の田畑の中をつっきっている。又地区内の二つの橋も駒沢橋は松尾橋梁（東京）が三五五十万円で請負い八日に完成の予定で、目下橋桁のコンクリート打がおこなわれている。

又新川橋は桜田機工（東京）が六八七十万円で請負い九月の完成めざして、ワイヤーもはられ橋本体の工事が進んでいる。両方の橋共完成二週間で通行可能となり名月を橋の上でという風情も間近い。

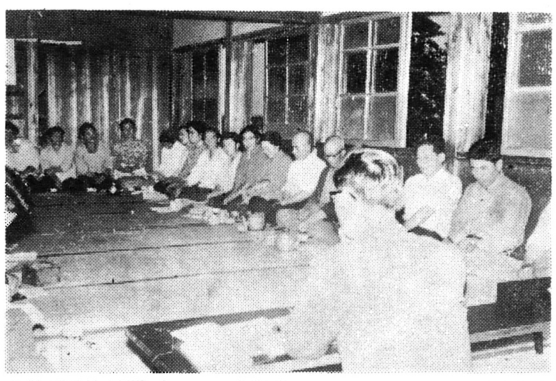
難航の駄科地区は、法線は決定され、七戸の移転家屋も含め八月中旬ころ迄に話し合いを進め十月には工事を始め、四十三年度中には開通が予定されている。買収被買収者共しこりを後にのこさぬよう無理のない線で話を進め早期着工が望まれる。こうして全線開通後の竜丘地区の再開発の日の早いことをのぞみたい。



写真は新川橋々梁工事

参議員選

学習会行わる



七月七日の参議院選挙を控えた六月二十四日から二十九日に、公民館主催の選挙学習会が行われた。公民館と婦人会、青年会、老人クラブが共催し、選挙管理委員会の山岸事務局長を招き、各部落の公民館を会場に熱心な学習が行われた。私達の生活に直接つながる政治にどれほどの関心があるだろうか。尊い一票を無駄にする事なく、立合演説会、新聞、広報、学習会等自分の生活を良く考えてみて、本当に自分達の生活の為に粉骨身をおしまず議員としての職責を果してくれる候補こそ一票を投票しなければならない。

この意義ある学習会にかけつけた人こそ真に自からの手で政治にたずさわっている人と言えるのではないか。

時又を皮切りに始まった学習会はどの部落も二十余名の参加があったが、今少し多数の参加と同時にご意見、質問が要求されたようである。今回の参院選挙が、これからの日本の歩みに大きく左右し、この選挙戦で最も大きな争点となった七十年日米安保条約問題を控え、各党それぞれの政策を学習し又現在の政治の長所短所を学習する時、私達の代弁者として政治を任す事の出来る候補を選び出す事が出来る。そうした意味では今少し突っ込んだ話合を期待したかった。

≪駐在だより≫不良化防止としつけ

ある中学生が家庭の金一万円を無断で持ち出しある商店で崩して遊ぶ金に使っていたが、その商店からの注意により私が調べたところこの少年は数十回に亘り家の金を無断で使っており、時には町の商店において仲間数人と万引をしていたことが明らかになり補導された。このような少年非行をかえりみて、祖父は孫の現金の使い方をあまやかせており、警察の注意にも家の金だからとあまい考えからしつけもせずに少年が犯罪を犯していることも気付かずにいたのである。

このような犯罪を犯した少年の再非行を完全に防止し又事前に防止するきめ手は人間が人間である以上つかめないが、少年の非行、不良化防止は環境としつけが大切な問題だと思います。サーカスで芸をやっている猛獣でも生まれたときから人の手により育てられ芸を仕込むから本来の野性を忘れ、人の言う通りの芸をやる猛獣となり、これが一度野に放され野性の仲間に入ったらもう人の言う事は聞かない、芸もやらないと思います。今日の親たちは余りにも子供のしつけに自信を失っている人が多すぎやあしないか。何でも子供の言う事を聞いてやり、言うなりになっていれば理解のある親だと誤った考えを持っている人が非常に多いのではないかとつくづく思います。今日の違法を見逃がせば明日は又倍の違法を犯し、今日の違法をとがめれば明日はその半分となる。

（浦野一豊）

青年の主張

選挙の結果僕は多くの疑問を持った。僕は今の政治は政党政治であると思っていた。ところが、今回の参議員選挙では党の公認候補が党を批判する演説を公然とやり当選からも自民党はなっとらんという様な事をいい安保反対の意見をのべている。僕は党の公認を受けたら自分の意見を党に一致し党の一員として活動していくべきが公認の最大の条件の様な気がする。しかし今回の自民党の公認は彼らが内閣の悪口をいおうが安保に反対しようが、かまわずに票を集め当選する事が必要条件だったのではないかと疑がわざるをえない。それとも石原慎太郎がいった自民党を内部から変えるのに期待したのかな自民党は（まさか）。政治評論家の言う様な事はこれくらいにして今回の選挙の結果でやっぱり一番感じるのはもっと一票を大切にしなければいけないとつくづく感じる。それに一票投じた議員が又党が何をするか見守る義務責任があると思う。嘘ばかり言っている議員でもどんどん二選三選されるのを見ると選挙以外は何を考えているのかわからないし、又知ろうともしない。これでは「選挙用選挙公約文句」がまかり通ってもしかたないだろう

参議選は終った

若さとは、行動力であるとか、正義感であるとか、と本に書いてあったが僕もその通り思っている。すると日本には青年の数が大分少いのではないかな。マージャンに敗けて頭にくる。又年令から判断する青年はいても、過去の日本の歴史を見ても、いつの時代でも日本の歴史を変えてきたのは青年の行動力であった。別に日本の歴史を変えてしまえというのではなく、正しい事は正しいと判断出来、行動する青年になりたい。

参議員選を通じて多くの人達と語り合えた。その中で自分の考えをはっきりもっている人がいない。君はどう考えると聞くと、十人の内六人近くがむずかしくてわからないと答えた。自衛隊適格者名簿の件について「僕は自衛隊にいく気がないから関係ない」という答え [illegible] 考えすぎなんじゃないか [illegible] 僕の一票は当落に関係なく生きていると信ずる。N

三行ニュース

参院選竜丘から違反者も出ず明正選挙が出来た？毒舌家曰く無関心のバロメーター。信じたくない

×　×　×

アメリカから七十余万の乳牛五頭、竜丘の農業も国際的になった？たんとモウけて楽農家になれ。

×　×　×

鈴岡公園入口から本丸へかけて駄科一？の弾丸道路出来る。自然をハカイするな！の声もある。

編集後記

▼広報部の編成が変って久々の活版印刷、ハリキリ編集に取りかかり、出来上がったこの新聞。

▼これからは暑い夏、竜丘は脳卒中が非常に多い所、脳卒中に限らず健康にはくれぐれも御用心を。